

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 伊藤 りち子

記入日 3月18日

所属政党 日本共産党

選挙区 白石区

＜アンケート回答記入欄＞

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例:①)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1.	②	障がいを持たれているみなさん一人一人に合わせた施策が大切だと考えます。地域の受け皿やきつした整備を何ううえでもきつ細かい対応が求められ、地域ごとの自主的な生活支援や社会での役割責任は重要と考えます
Q2.	①	必要なサービスを確保することは当然保証されるべきものだと考えます。障がい程度区分によって「サービス」を制限するべきではないと考えます
Q3.	①	施設負担は許していません。利用料徴収の場合であり、その施設負担と利用者負担は十分な財源を保障していません。札幌市は障がい者のみでなく、高齢者や利用料は高額な無料としたりした、これは社会全体で障がい者の声も聞かれています
Q4.	①	障がい者にとってとてつもない問題を国でしっかりと対策保障おこなうべきです。移動の問題は責任をもつ行政がとりくむべきことだと考えます
Q5.	①	障がい者が安心して生活できるようにするためにきつ細かく障がい者のみなさんの声をきいて行政がしっかりと危険箇所を改善していくべきと考えます
Q6.	①	障がいに対応した専門の職員の配置をしっかりと行っていくべきと考えます
Q7.	①	法定雇用率を満たしているだけでなく、出資団体も含め雇用拡大を積極的にとりくむべきと考えます
Q8.	①	高次脳機能障害者の施設を訪ね、その障がいをもつ方が増えていることなど、国や行政の支援を促める声を聞かれています。札幌市もモデル事業で取り組むべき施策の推進をしっかりと支援していくべきと考えます
Q9.	①	札幌市は福祉政策の精神を生かして積極的に条例を制定すべきと考えます
Q10.	障がい者のみなさんの交通費助成を障がいによる格差が起きない様にする。冬場などは歩くのが危険なのでタクシー券を発行してもらうなど利用者のみなさんの切実な実態をしっかりと届け改善させていきます みなさんの運動と一緒に障がいをもつ人たちが安心して生活する札幌市にするため力をつくり、国に財政支援を求めます	